

ひとつの楽曲によって、 身も心も旅することができる

歌手 森山直太郎さん

大学在学中に、ギターを抱えながら、路上で歌うようになる。インディーズ時代は「直太郎」で活動、ラジオ出演を通し、楽曲を披露する。2002

年にメジャーデビュー。『さくら(独唱)』で脚光を浴び、以後、幅広い音楽ファンを魅了する曲を生み出している。



2002年、『乾いた唄は魚の餌にちょうどいい』でメジャーデビュー。その中の1曲、『さくら(独唱)』がシングルカットされ、ミリオンヒットを記録したことは、森山ファンの記憶にも新しいはず。しかし、この名曲について森山さんは、「あれは、実のところ、もっとパンクロックな感じの曲だったんですよ」と、意外な裏話を語ってくれました。

今年でデビュー4年目を迎える森山さん。数々の楽曲を世に送り続けていますが、その一方で、今年2月には、東京と大阪の2都市で、劇場公演『森の人』に出演。舞台という新ジャンルにチャレンジしました。「音楽ライブとは違った、演劇要素の強い実

験的な舞台だったけど、自分が音楽活動を続けていく上で、追求していくべき表現の形が見えたような気がしないでもないかな。」

水が同じ場所に留まらず、常に形を変えて流れているような、そんなフレッシュさを感じさせる森山さんですが、コンサートツアー2005「君は五番目の季節」は、森山直太郎の原点に戻ったような内容だそうです。「シンプルなコンセプトで、こんな感じのライブは実は今回が初めてなんです。今さらなんだけど、“初めまして、森山直太郎です”的な内容になると思います。」

現在はコンサートツアー中のため、車や電車、飛行機と、移動中に曲

作りをする機会が多いとか。「目標とするアーティストはニール・ヤングと郷ひろみを足して二で割ったようなアーティスト」今後の活動展開については神のみぞ知る」と、オリジナリティーあふれる返答をする一方で、「歌の持つ魅力とは、ひとつの楽曲によって、身も心も、さまざまな時や場所に旅することができる場所にあると思います」と、ピュアな音楽性を感じさせる発言も。

9月5日(月) 和歌山県民文化会館大ホール。“まだ見ぬシンガーソングライター、森山直太郎”のすべての魅力に触れ、一体となるときを過ごす…。そんな夜を過ごせることを期待させてくれそうです。

第38回 和歌山県民文化祭



各イベント内容の情報を掲載したパンフレットを、ただ今配布中です

秋の訪れとともに、恒例の和歌山県民文化祭が始まります。文化・芸術は人々の心を豊かにし、生活にゆとりや潤いをもたらします。また和歌山県民として、私たち一人ひとりが

積極的に文化活動に参加し、郷土の誇りや愛着心を次の世代に伝えていく絶好の機会でもあります。

今年も県内の多くの文化団体の参加により、多種多様なイベントが開

催されます。和歌山県がより一層文化の香りあふれる故郷になるよう、家族、そして友達同士、誘い合って、紀州の芸術の秋を楽しみましょう。

和歌山県 文化表彰 受賞者

和歌山県文化表彰とは、和歌山県の文化向上・発展に
顕著な功績のある人たちに贈られる賞です。

平成16年度 文化功労賞

絵本・紙芝居作家
まつい のりこさん



昭和9年、和歌山市生まれ。和歌山大学学芸学部卒。愛娘のために制作した手作り絵本を出発点に、多くの絵本を出版。昭和51年ポローニャ世界児童図書展においてエルバ賞を受賞。また絵本だけでなく、紙芝居文化の発展にも情熱を注ぐ。東京都在住。

絵本とは、まだ字が読めない子供のために、絵を通じてストーリーを簡単に伝える本だと思っている方が多いでしょう。でも、まついさんは「絵本は、大人を含め人間らしく生きたいと思っている人すべてのもの」と語ります。絵本のページをめくっていくと、そこには絵があり、字が存在します。読者は絵本の中に入り込み、周りのことは忘れ、作家が作品の中に込めた光の雫を得ながら、自分という『個』の存在に気づいていきます。まついさんは「絵本というのは『個』の感性を育む素敵な文化」と表現してくれました。

一方、日本生まれの紙芝居は『共感』の感性を育むものだと分析します。戦前、紙芝居は戦争を煽るための道

具として利用されたという忌まわしい過去を持ちます。しかし戦後は、紙芝居の中に素晴らしい文化があることが認識され、多くの作家たちが紙芝居文化を切り開くことになったのです。「紙芝居は、その独特な形式によって、作家世界が観客のいる現実空間に広がり、コミュニケーションがおきて、『共感』の感性を育むという特性を持っているのです。世界中を見渡しても、このような素晴らしい文化は他にないと思います」。21世紀は、この『共感』を大事にしなければいけない時代。「だからこそ、紙芝居文化をさらに切り開くことが大切なんです」と、まついさん。

「今後も作品を描いていきたいですね。絵本から知識を得て喜べるよう



絵本「ぴーちゃん くもにとぶ」(左)
夜、オシッコに行くのが怖いと言いだした愛娘のために描いたそう。誌面の野原や山は、故郷和歌山の風景を思い浮かべたとか

絵本「じゃあじゃあびりびり」(中)
まついさんの次女が赤ちゃんの時に制作。興味を持ち始めた「擬音」を描いています。ちなみに本の大きさは持ちやすいサイズにと、赤ちゃんの肩幅と同じ著書「あの日の空の青を」(右)
終戦時の真っ青な空の色が忘れられないという、まついさん。生きる喜びを感じた「色彩」の大切さを表現



子供から大人まで一緒になって楽しめる紙芝居作りによりがいを感しているそう

な本をもっと出したいし、紙芝居についても理論化を深めていきたいと、思います。さらに作品だけでなく、世界中に平和の光を輝かせるため、残りの人生、精一杯行動したいと力強く語ってくれました。

平成16年度 きのくに技能奨励賞受賞者紹介

全国でも珍しい漆塗りの 雛人形を作り続けて20年

紀州雛(蒔絵師)
いけじましろ
池島史郎さん



「材質はロクロで彫った天然木の丸彫りで、自然乾燥させたものを使っています」と池島さん。大小20種類の雛人形は、すべて手作り。蒔絵は漆を7色ほど塗り重ねていきます。季節や天候により仕上がりが違うので、作業場には冷暖房を入れず、暑くても寒くても自分の五感を使って、漆と話

し合うごとく、その日の塗り具合を調整。昔ながらの乾燥法でじっくり乾かすと、艶のある美しい雛人形に仕上がるとか。「手間と時間をかけて作るので年間500体ほどの生産ですが、黒江でただ一軒なので、伝統を守り続けていきたい」と職人の心意気で語ります。

昭和31年海南市生まれ。「紀州雛 宗家・寺下」三代目。祖父の寺下幸司郎氏が海南の新しい土産物にと昭和初期に紀州雛を考案。三代目として29歳から紀州雛の製作に携る。平成16年和歌山県郷土伝統工芸品指定。

音楽家の卵たちが未来に向かって羽ばたく 第33回 和歌山県新人演奏会

関西元気文化圏参加事業

和歌山県にゆかりがあり、音楽家を目指す人たちに演奏の場を提供しようと、昭和48年からスタートした新人演奏会。厳し

いオーディションを勝ち抜いた15人の若き音楽家が、フレッシュな音色を会場いっぱいに響かせてくれることでしょう。



日 時	平成17年9月19日(月・祝)
開 演	午後1時(開場:12時30分)
場 所	和歌山県民文化会館大ホール
入 場 料	1000円



上野 大祐
ホルン

この度は和歌山県新人演奏会に出演させていただき、感謝いたします。
【プロフィール】和歌山市出身。近大附属和歌山高校、大阪音楽大学卒業
【演奏曲目】リチャルト・シュトラウス/ホルン協奏曲 第1番 変ホ長調 op.11



村上 理恵
作曲

自分の曲を多くの人に発表することができ、大変うれしく思います。
【プロフィール】鳥根県出身。鳥根県立隠岐高校卒業、和歌山大学大学院在学中
【演奏曲目】村上理恵作曲 Pedestrian Crossing(ピアノソロ)他



吉田 紗知
ピアノ

このような機会に恵まれたことを大変光栄に思っております。プーランクの音楽の魅力を十分伝えられる演奏にしたいと思います。
【プロフィール】上富田町出身。田辺高校、名古屋音楽大学卒業
【演奏曲目】プーランク/主題と変奏



佐古 渚
ピアノ

自分らしい演奏ができるよう、最善を尽くしたいと思います。
【プロフィール】釜屋町出身。耐久高校、相愛大学卒業
【演奏曲目】ラヴェル「鏡」より「洋上の小舟」道化師の朝の歌



吾妻 優子
ピアノ

支えて下さるみなさまへの感謝の気持ちを胸に、精一杯演奏します。
【プロフィール】那智勝浦町出身。新宮高校卒業、大阪芸術大学大学院在学中
【演奏曲目】ブラームス/スケルツォ 変ホ短調 op.4



西井 幸子
ピアノ

一生に一度のこの演奏会に出演できるなんて、夢のようです。
【プロフィール】吉備町出身。箕島高校、相愛大学卒業
【演奏曲目】ラフマニノフ/ピアノソナタ 第2番 op.36 第一楽章



湯川 紗代
フルート

さらに活躍の場を広げられるよう、日々演奏に磨きをかけていきたいです。
【プロフィール】海南市出身。和歌山信愛女子短大附属高校卒業、相愛大学音楽学部専攻科修了
【演奏曲目】アンドレ・ジョリヴェ/リノスの歌



辻 崇志
トランペット

演奏会では音大での勉強の成果が出る演奏をしたいと思えます。
【プロフィール】高野町出身。京都市立音楽高校、武蔵野音楽大学卒業
【演奏曲目】フンメル/コンチェルト 第一楽章 第三楽章



塩路 雅美
マリンバ

マリンバの素直な音色を多くの方々にお届けできれば幸いです。
【プロフィール】御坊市出身。日高高校、大阪音楽大学卒業
【演奏曲目】安倍圭子 遥かな海



班 文林
作曲

みなさんに感謝と今後の交流を願い、大草原のイメージを届けます。
【プロフィール】中国(内モンゴル自治区)出身。フフト市第18高校卒業、和歌山大学大学院修了
【演奏曲目】班文林作曲/モンゴル草原組曲(木管五重奏)



中野 綾
声楽

聴いて下さる方々に、何かを感じ取っていただける演奏をしたいです。
【プロフィール】御坊市出身。日高高校卒業、大阪音楽大学音楽専攻科修了
【演奏曲目】ロッシーニ/フィレンツェの花売り娘他



東 明良
声楽

本番では楽しい演奏ができるように練習に励みたいと思います。
【プロフィール】みなべ町出身。南部高校卒業、大阪芸術大学大学院修了
【演奏曲目】小林秀雄作曲 野上彰作詞/愛のささやき他



岩本 美恵子
ピアノ

素晴らしい機会に恵まれたことに感謝しつつ、精一杯頑張ります。
【プロフィール】釜屋町出身。耐久高校、神戸女学院大学卒業
【演奏曲目】シマノフスキ/四つの練習曲 op.4-1 九つの前奏曲 op.1-1.7.5



岩本 愛子
ピアノ

音楽大好き!というこの気持ち、精一杯込めて演奏します。
【プロフィール】和歌山市出身。和歌山信愛女子短大附属高校、京都市立芸術大学卒業
【演奏曲目】ショパン/エチュード イ短調 op.25-11「木枯し」他



竹友 千恵
ピアノ

作品に込められた作曲家の深い思いを、みなさまの心に少しでもお伝えできればと思っております。
【プロフィール】岩出町出身。那賀高校、東京芸術大学卒業
【演奏曲目】ブラームス/シューマンの主題による変奏曲 op.9より

敬称略、出演順

チェコ国立ブルゼーニュ歌劇場が贈る

9/25 **ボヘミア・オペラ**
「カルメン」



関西元気文化圏参加事業

開演 / 午後3時(開場 / 2時半) 場所 / 県民文化会館(大ホール)
入場料金 / S席11000円・A席8000円・B席5000円
チケット発売中 学生・団体割引あり 未就学児のご入場はお断りいたします

美しく情熱的なファム・ファタル(宿命の女)、カルメンの官能的なハバネラが舞台上に響きわたる…。フランスの天才作家ビゼーの最高傑作オペラ「カルメン」。メリメの小説をベースにしたこの作品は、ドラマチックな内容と美しく刺激的な音楽で、古今のオペラの中でも、最も人気の高い演目の一つです。さらに「ボヘミア・オペラ」の高い技術と演出で、

より情熱的で官能的な「カルメン」を楽しめます。

舞台はスペインのセビリヤ。真面目で純朴な衛兵ホセは、自由奔放なジプシー女、カルメンに夢中。しかしカルメンは花形闘牛士であるエスカミーリョに心を奪われます。ホセとカルメンを待ち受けるのは幸福か絶望か…。ドラマティックな結末は舞台でお確かめください。



ジャズ史上に輝く栄光のバンド

10/24 **カウント・ベイシー・オーケストラ**



関西元気文化圏参加事業

開演 / 午後7時(開場 / 6時半) 場所 / 県民文化会館(大ホール)
入場料金 / S席(1階)6500円・A席(2階)5000円
チケット発売中 学生・団体割引あり 未就学児のご入場はお断りいたします

昨年、台風23号接近のため、やむなく公演中止となった「カウント・ベイシー・オーケストラ」。みなさまの熱いご要望により、再度、和歌山公演が実現しました。

スウィング全盛の時代から、常にトップの座を守り続ける老舗ビッグバンド。アメリカ音楽界の巨匠であるウィリアム・カウント・ベイシー(1904~1984)が35年に結成、翌

年にニューヨークでデビューし、公演を重ねるたびに、名実ともに一流のバンドと認められるようになりました。結成70周年を迎え、その技術と伝統は、世界のエンターテインメントビジネスにおいて最も高い評価を受けています。

迫力あるプラスのバトルで演奏される名曲の数々を聴いて、ジャズ的神髄にたっぷり酔いしれましょう。



狂言は世界最古の喜劇

11/14 **狂言鑑賞教室「柿山伏」附子**
ウェルカム笑空間「盆山」縄綱

みんなで楽しむ狂言教室

狂言鑑賞教室「柿山伏」附子 開演 / 午後2時(予定) 学校鑑賞教室のため関係者のみの入場となります
ウェルカム笑空間「盆山」縄綱 開演 / 午後7時(開場 / 6時半)
場所 / 県民文化会館(小ホール) 入場料金 / 前売り2000円・当日2500円 チケット9月中旬発売予定 学生割引あり
狂言の催し物についてはNPOと財団が協力して行います

狂言ちゅうのは、おもしろいもので御座る

狂言は、室町時代に生まれ育ち、発展した芸能です。公演内容は、ワークショップで舞台に上がり、狂言のイロハを体験した後、ほんまもんを観ます。出演は、茂山狂言会の方々です。

和歌山

名品

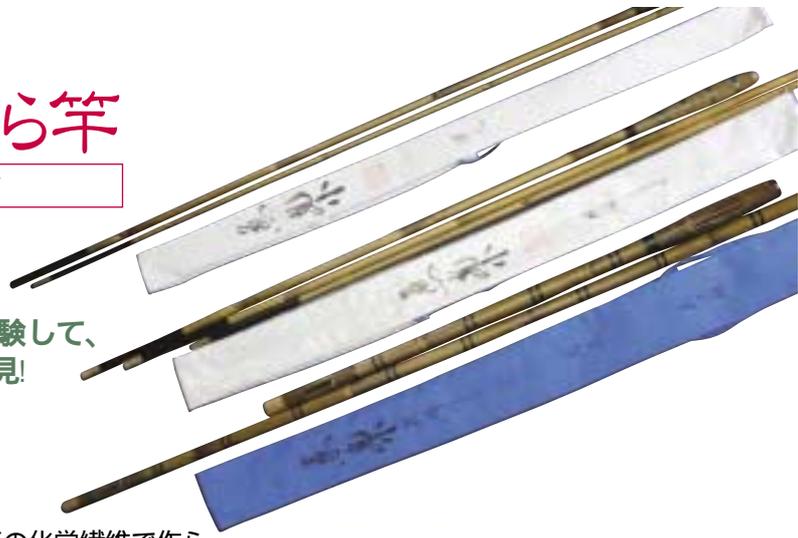
Wakayama
Traditional Craft
Theatre

劇場

紀州へら竿

橋本市

和歌山の奥深い
伝統工芸品を
見て、触れて、体験して、
その魅力を再発見!



明治中期に誕生したとされるヘラブナ(人工魚)大きいものは体長60cm、重さ3kg以上にも達し、多くの釣り人のターゲットとして魅了しています。その道具にふさわしいのが「紀州へら竿」。創始者といわれる竿五郎は、大正13年に2代目竿正の弟子となってチヌ竿を作っていました。出入りをしてきた竹材店に高野竹(スズ竹)があるのに注目し、これを使用して初めて「紀州へら竿」を完成させました。以後、多くの優れた匠によって至高の竿作りが現在まで継承

されています。

カーボンなどの化学繊維で作られた竿では決して味わうことができない釣りの妙。妥協を許さない匠の命が宿る「紀州へら竿」を使用すれば、釣り人とヘラブナとの自然の語り合いを感じることができるでしょう。

紀州製竿組合では、多くの人に「紀州へら竿」の魅力を知ってもらおうと、隠れ谷池でイベントを開催したり、竿作りとヘラブナ釣り体験の機会を提供しています。匠の技と伝統に触れてみませんか。



隠れ谷池(ヘラブナ釣り会場)

A 紀州製竿組合 / 橋本市市脇
N0736-32-4490(組合長・城英雄)
H <http://www4.ocn.ne.jp/~herazao/>
A 隠れ谷池 / 橋本市清水
N0736-34-1482
Z 紀州へら竿作りとヘラブナ釣り体験
1人3000円 4月~10月・日曜を除く

体験レポート



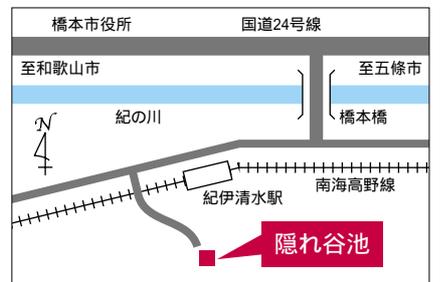
1 紀州へら竿作りの数ある工程の中で、「火入れ」を体験しました。竹のクセ直しをするもので、この時点の竹は曲がっています。



2 竹が小麦色になるまで焼き込みます。廻しながら、まんべんなく焼きを入れるのがコツ。竹の油が噴き出し、とにかく熱い!



3 「ため木」という道具を使って素早く真っ直ぐにします。ちなみに、この作業が一人前になるには10年かかるそうです。



世界遺産を辿る

熊野水軍の勇姿を見る 御船まつり

【開催場所】熊野川 【日時】10月15日(土)、16日(日)
A 新宮市 [新宮市役所商工観光課 N0735-23-3333

熊野速玉大社では10月15日に同大社の大祭である神馬渡御式が、16日には御船まつりが行われます。

御船まつりは1000年以上の歴史を持ち、全国各地の手漕ぎ競漕の中でも最古のひとつとされています。熊

野川の河口から、約2kmほどの上流に浮く御船島は祭礼の場となる島で、その島を神幸船(みゆきぶね)で渡り、再び熊野速玉大社の社殿に戻ってきます。また御船島の周辺を9隻の古式船が競漕。これは、源平の合



源平合戦で有名な熊野水軍の勇姿に感動することでしょう

戦で勝利に導いた熊野水軍の勇姿を今に伝えています。この行事は昭和39年5月に県の無形民俗文化財に指定されました。

万葉の故地・和歌の浦で薪能を! 和歌の浦 万葉薪能の会



薪能の開催には多くのスタッフが協力し合うとか

伝統文化の継承や保存、和歌浦の活性化や町づくりに貢献している「和歌の浦 万葉薪能の会」。平成11年から毎年秋に片男波公園野外ステージで開催する薪能公演をメイン活動とし、さらに毎月「万葉薪能セミナー」も実施しています。セミナーは野外活動や講演活動、能・狂言のワークショップなどを行い、会員だけでなく一般参加者にも大変好評だとか。その他、「めざめる百面」事業、「高津子山を桜の山に」事業などを実施しています。なかでも百面事業では、和歌祭で使われる百面の保存や補修に尽力し、31面を東照宮に寄贈。今春には県立博物館とのコラボレーションで「仮面展」の講演会を開催しました。

「自分が好きなことや得意分野で参加・協力し、共に楽しむスタンスで会の活動を



第5回万葉薪能の会(平成15年開催)より。喜多流「小鍛冶」松井彬氏

行っていきたいですね」と代表の松本敬子さん。薪能の開催には多くのスタッフがボランティアで活躍し、活動報告や会員の投稿などで編集する会報を隔月発行しています。今年の万葉薪能は10月9日(日)に開催。かがり火に浮かぶ幽玄の世界をお楽しみください。



狂言「濯ぎ川」茂山一門



千手川プロジェクト 大好きな川をいつまでもきれいに 和歌山市立有功東小学校

日差しがまぶしい夏の日、有功東小学校に10数人の子どもたちが集まりました。手には虫捕り網やバケツなどを持って。この日は「千手川プロジェクト」の生き物調査の日。「地元を流れる川をいつまでもきれいに」との思いで有志が集まり、千手川の清掃活動をし、環境学習にも取り組んでいます。



中流にある出世不動の水辺まで登り、県環境衛生研究センターのスタッフに教えてもらい、川の虫を採集。ヒラタカゲロウやカワゲラなど比較的きれいな水に住む虫が多く見つかりました。

和歌山の昔話 かにづか



野口(御坊市)に慈悲深い父娘が住んでいました。ある日、娘は蟹をいっぱい捕まえた青年を見かけ、蟹を逃がすように頼みました。ところが青年は「今日1日かかって捕まえたんだ、持ち帰って食べるんだ」と言い放ちます。娘は代わりに良い魚を差し上げるからと頼み、蟹を全部小川へ放しました。その後のある日、父の庄屋が山道を通っていると、1匹の大蛇が現れ蛙を飲み込もうとしていました。庄屋は「助けてやってください。お前の好きなものは何でもやる」と、蛙を助けました。

その夜、美少年が庄屋の前に現れ、娘を引っ張り出そうとするのでした。必至に抵抗し「10日待ってくれ、娘を渡すから」とその場をしのぎました。庄屋は10日の間に頑丈な家を造り、そこに娘を入れました。例の青年がやってきて、どこにも入口らしい物のない建物を見るやいなや、青年は一匹の蛇体となり、猛然と壁板にかみつきました。その時、無数の蟹が現れ蛇にかみつきました。蛇は息絶えてしまったのです。気がついたら父娘とも涙を止めどもなく流していました。

カルチャー・インフォメーション

和歌山県立近代美術館

T 073(436)8690

版画家たちの表情

9月17日(土)~10月23日(日)

静ひつな版画作品を生み出した7人の版画家 オディロン・ルドン、モーリス・ドニ、長谷川潔、恩地孝四郎、駒井哲郎、浜口陽三、福井良之助)の、当館所蔵品を中心とした特集展示。それぞれの表現世界を楽しむとともに、心の内面をさまざまな題材によって表す象徴的な表現について、一つの系譜と広がりを感じていきます。



P午前9時半~午後5時(入館は午後4時半まで) 駒井哲郎《月の兎》1951年
C月曜(祝日の場合は翌日)
Z一般400円・大学生250円 高校生以下・高齢者 和歌山県立近代美術館蔵(65歳以上)・障害者の方は無料

和歌山県立博物館

T 073(436)8670

世界遺産登録記念特別展

「熊野速玉大社の名宝・新宮の歴史とともに」

10月22日(土)~11月27日(日)

「紀伊山地の霊場と表詣道」の一つの拠点として、昨年世界遺産に登録された熊野速玉大社。その信仰を物語る名宝や新宮市内に残された文化財を通して、新宮の歴史や文化を紹介します。熊野速玉大社の神々に奉納された国宝700点を一堂に展示する、かつてない規模の展覧会です。



祀 萌黄小葵線綾丸文二重織
~熊野速玉大社蔵

P午前9時半~午後5時(入館は午後4時半まで) C月曜(祝日の場合は翌日)
Z一般810円・大学生510円 高校生以下・高齢者(65歳以上)・障害者の方は無料

和歌山県立自然博物館

T 073(483)1777

ドングリころころ工作教室

10月23日(日)13:00~16:00

植物のタネや木の実が持つ個性豊かなかたちを観察しながら、ドングリを使ったマスコット作りに挑戦!募集対象は小学生以上一般(小学生は保護者同伴)参加料は103円および入館料です。申込締め切り日は10月8日(土)で、抽選により選ばれます。



P午前9時半~午後5時(入館は午後4時半まで) C月曜(祝日の場合は次の平日)
Z一般460円 高校生以下・高齢者(65歳以上)・障害者の方は無料

和歌山県立紀伊風土記の丘

T 073(471)6123

特別展「熊野・山に生きる知恵」

9月23日(祝・金)~11月23日(祝・水)

温暖多雨な気候、良質の土壌に恵まれた熊野の地では、山の資源を最大限に利用する「知恵」が育まれてきました。熊野の林業、備長炭、養蜂の独特な道具、山の信仰など、あまり知られることのなかった山の生活文化を紹介します。



提供:新宮市教育委員会

P午前9時半~午後4時半 C月曜(祝日の場合は次の平日) Z一般350円・大学生210円 高校生以下・高齢者(65歳以上)・障害者の方は無料

万葉館

T 073(446)5553

和歌祭写真展 10月5日(水)~1月22日(日)

和歌祭は江戸時代の元和8年(1622年)に始まった伝統ある祭。東照宮の急な石段での神輿おろしや、渡御行列など、和歌祭の魅力を写真で紹介します。

絵手紙教室 11月17日・24日、12月1日(いずれも木)

来年の年賀状にひと工夫してみたいか?3日間の受講で3000円。先着順につき、事前予約が必要です。

P午前9時~午後5時(入館は午後4時半まで) C月曜(祝日の場合は翌日)
Z一般260円・高校生/大学生150円・小/中学生100円 高齢者(65歳以上)・障害者の方は無料

第59回和歌山県美術展覧会「県展」

第1期/10月13日(木)~17日(月)【書・華道】
第2期/10月20日(木)~24日(月)【写真・洋画】【無鑑査・招待】
第3期/10月27日(木)~31日(月)【彫塑・洋画】【一般・審査員】
第4期/11月3日(木)~7日(月)【日本画・工芸】

場所/和歌山県民文化会館県民ギャラリー(白浜、新宮、上富田、橋本でも展示)

県民の美術作品に対する創作意欲を盛んにして、和歌山県における美術文化の向上と発展に資するために開催します。

問い合わせ/T 073-433-7124(和歌山県美術展覧会実行委員会)
T 073-441-2052(和歌山県知事公室文化国際課)

「和歌山県民文化会館友の会」入会のご案内

各種事業を通して、会員の方々により深く文化に親しんでいただくことを目的する「和歌山県民文化会館友の会」が32年目を迎え、生まれ変わりました。会費が無料(有効期限なし)となり、文化ボランティア制

度を導入するなど、新たな取り組みも。この文化情報誌「WACA-P」を年6回お届けする他、下記の特典を受けることができます(詳しくは、T 073-436-1331友の会までお問い合わせください)。

特典

県民文化会館で行われる財団主催催し物の優先予約
県民文化会館で取り扱っている催し物の入場券の電話予約
提携ホテルおよびレストラン等の割引

立体駐車場利用案内

営業時間/24時間(年中無休)
収容台数/484台(うち身体障害者専用6台)
駐車料金/30分につき100円、夜10時~翌朝7時まで60分100円、1日(0時~24時)最大1600円



文化情報誌 ワカピー Wakayama Culture and Arts POWER

【発行】和歌山県
【発行日】平成17年9月 【編集・問い合わせ】和歌山県文化振興財団(ワカフ) 〒640-8269 和歌山市小松原通1-1(和歌山県民文化会館内)
☎073(436)1331 FAX.073(436)1335

【ホームページアドレス】http://www.wacaf.or.jp